

靴に発信機、居場所検知

認知症患者向け ツクイなど実験

介護大手のツクイは靴 犯機器メーカーの加藤電 み、認知症患者の徘徊（は
メーカーのアキレスと防 機（愛知県半田市）と組 いかい）を早期に検知し、

発見するシステムの実証 施設に導入する考えだ。 見守りエリアの外に出る 横浜市や東京都立
実験を始めた。発信機付 アキレスが開発した介 と、介護職員や家族らに 区、大阪市、長崎市など
きの靴を開発、介護施設 護シューズに、加藤電機 メールで知らせる。認知 全国10カ所のツクイのデ 208人だった。発見の
などから認知症患者が外 が開発した小型の発信機 症患者が進んだ方角や距 遅れで生存率が低下する
出した際に測定装置で居 を装着する。靴を履いた 離を知らせる測定装置を 傾向があるといい、ツク
場所を探せる。実験を経 認知症患者が半径約10、 使って居場所を突き止め 警察庁によると、20 イなどは新システムを使
て9月以降に全国の介護 200以上程度で設定した られるという仕組みだ。 15年に認知症やその疑 っで早期発見につなげた
いによる行方不明者は前 考えた。